

2024年4月10日

株式会社JR西日本コミュニケーションズ

バーチャル世界で駅員になりきれ！ JR西日本公式制服がアバターアイテムで登場

-JR西日本グループで初めてのアバターアイテムショップ「JC Creators」がオープン-

株式会社JR西日本コミュニケーションズ(代表取締役社長：伊藤 義彦)は、株式会社アダストリア(代表取締役社長：木村 治)が運営するファッション特化型メタバースマーケットプレイス『StyMore(スタイモア)』内で、アバターアイテムを販売する公式ストア「JC Creators」をオープンします。さらに、商品第1弾として「JR西日本公式 駅長制服アバターアイテム」の販売を2024年4月10日(水)から開始することをお知らせします。



弊社は、鉄道を舞台にしたゲームアプリの開発、鉄道を題材にしたNFTの販売試行など、鉄道IP(知的財産:intellectual property)を活用した様々なコンテンツ施策を行ってまいりました。また、2022年8月、2023年3月にはJR西日本・JR西日本イノベーションズと共同で「バーチャル大阪駅」施策を実施するなど、XR分野に対するチャレンジも進めており、2024年3月に「バーチャル大阪駅3.0」がスタートしております。

『StyMore』で販売される今回のアバターアイテムは、対応するプラットフォームを横断的に使用することが可能で、3 DCGソフトを使わなくても簡単に着替えることが可能です。この度、JR西日本公認の駅長制服の販売を開始することで、様々なバーチャル空間で駅長になっていただける新しい体験をご提供します。

「駅長制服アバターアイテム」概要

名称 : JR西日本 駅員制服 駅長ver.

種類 : 2タイプ(女性 / 男性)

販売価格 : 各2,200円(税込)

販売場所： StyMore内の「JR西日本 制服コレクション」ストア

<https://stymore.jp/shop/2520142f-add4-4f87-9532-c897e587efe8>

対応プラットフォーム： MakeAvatar、VRChat、VRoid Hub、Virtual Cast、DOOR(2024年4月時点)

「StyMor(スタイモア)」とは

2024年4月10日にオープンする“リアルでもバーチャルでもファッションをもっと楽しく”がテーマのファッション業界初となるファッション特化型メタバースマーケットプレイスです。

特徴①：専門性

- ・ファッションスキンに特化したサイトである

特徴②：テクニック

- ・3DCGソフトがなくてもアバターの着せ替えができる
- ・VRChatをはじめとした4つのプラットフォームで展開可能

特徴③：安心・安全

- ・出店にあたっての審査、作品のクオリティチェック
- ・過度な露出、公序良俗に反するスキンなどは出品ができない

特徴④：取扱いアイテム

- ・(今後)ここでしか買えないアイテムの販売

運営を行う株式会社アダストリアは、ファッションEC売上高第2位の実績を持つ自社EC「.st(ドットエスティ)」の強みを活かして業界に先駆け2022年夏からメタバースファッション領域へ参入。自社が展開する30以上のブランドと店舗力を生かし、これまでに約3,000点のアバタースキン(アバターが着用するデジタル洋服)を販売しています。

URL：<https://stymore.jp/>

JR西日本コミュニケーションズについて

JR西日本コミュニケーションズは、JR西日本グループの総合広告会社です。クライアントの課題解決に取り組む「広告会社」、JR西日本グループの宣伝・広報を担う「ハウスエージェンシー」、JR西日本グループの交通メディアの開発・運用を行う「交通媒体社」としての3つの機能を持ち、データやノウハウに基づくソリューションを提供しています。